



# つうじあうことが ひつようです

ルカ 2:1~14  
 「いと篤き所に、榮光が、  
 神にあるように。地の上  
 に、平和が、御心にな  
 う人々にあるように。」  
 (14)。

神様と人の間に原罪が垣根になってふさがりました。それで、人間はのろいの生活を送ります。高い垣根を崩してくれる英雄が必要でした。神様であるイエス様が、ふさいだ垣根を壊そうとこの世に来られました。伝道者のバプテスマのヨハネがヨルダン川の川べりを歩いておられたイエス様について、このように叫びました。「**あの方は世の罪をとりのぞく神様の小羊だ**」イエス様は、私たちすべての代わりに十字架にかけられ、血を流して死なれ、よみがえってふさいでいた垣根を崩してくださいました。イエス様を救い主として信じるものにいのちの門になってくださいました。神様に会えるようになりました。いよいよ神様とたがいに通じることができるようになったのです。神様とよくつうじあうことができる人が、もっとも幸せな人であり、もっとも正常な生活ができる人なのです。神様のみことばを持って神様を黙想しながら祈ってみましょう。そして、よくつうじあうことができる道を開くために、この世に来られたイエス様に毎日感謝して、賛美しながら、「**毎日クリスマス**」(キリストの日)を味わいましょう。

3 Today

- ★ きょうのみことば  
『れきだい 22』
- ★ きょうのいのり
- ★ きょうのてんどう

2011. 12. 25 (インマヌエル教会聖日 1部)

つぎのページとおもてとらで はりあわせて つくってください。②のうらが③、④のうらが⑤になるようにして はりあわせてください。

## こどもでんどう トラクト

てんせん:おるぶぶん じっせん:きるぶぶん

<p>こわいゆめを見る おともだち...! なぜこわいゆめを 見るのでしょうか?</p>	<p>2</p>
<p>4</p>	<p>6</p>
<p>神は、実に、そのひとり子をお与え になったほどに、世を愛された。 それは御子を信じる者が、ひとり として滅びることなく、永遠のい のちを持つためである。 (ヨハネ 3:16)</p> <p>8</p>	<p>かんりょう した</p> <p>10</p>
<p>いまイエス様をキリストとして私の 心に信じて受け入れれば、私は 神様の子どもになることができます。 しかし、この方を受け入れた人々、す なわち、その名を信じた人々には、神 の子どもとされる特権をお与えにな った。(ヨハネ 1:12)</p> <p>12</p>	<p>「<b>受け入れの祈り</b>」愛の神様。私は罪 人です。私は神様をはなれて、原罪の 中で生きていました。サタンのどれい になって、災いと地獄の力から解放 されることができませんでした。いま、 すべての問題の解決者であるイエ ス様をキリストとして信じます。</p> <p>14</p>

ふさがっていた垣根をくずして神様に会えるいのちの道であるイエス様をおして神様とつうじあうようにして下さってありがとうございます。まいにち、神様のみことばを持って祈り、神様とつうじあうレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

まえのページと おもてとらで はりあわせて つくってください。②のうらが③、④のうらが⑤になるようにして はりあわせてください。

てんせんおるぶぶん じっせんきるぶぶん

<p>しかし、へびを利用したサタンに、人間はだまされて、神様のみことばに聞きながいままです。このときから、人間は神様をはなれた原罪の中におかれるようになりました。そして、神様をはなれた人間は、サタンのどれいとして、ほろびの道に連れて行かれるようになりました</p> <p>③</p>	<p>もともと人間は神様とともにいるときとてもしあわせになるように造られたのです。だから、こわい夢もみませんでした。</p> <p>①</p>
<p>しかし、神様は私をとても愛しておられ、この世を造られる前から私を救う計画を立てられました。</p> <p>⑦</p>	<p>ええ～！原罪ひとつでそうなの？神様とともにはない人間は、どんなに努力しても、どんなによい人でも、のろいを受けるしかない運命にとじこめられたのです。</p> <p>⑤</p>
<p>3つのことをなされた方がキリストです。そして、2000年前、イエス様がキリストとして来てくださいました。</p> <p>⑪</p>	<p>神様をはなれ運命に閉じ込められた私に神様に会う道であるまことの預言者神様をはなれた原罪でのろいと災いにいる私を解放されるまことの祭司私をほろびの場にひっぱっていくサタンの権威をこわされたまことの王</p> <p>⑨</p>
<p>私の主人となって、一生、私を導いてください。神様が恵みでくださったことをさとらせてください。救ってくださってありがとうございます。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン</p> <p>⑮</p>	<p>受け入れの祈りをすればもうこわい夢はあなたを苦しめることはなく、だまされることもないでしょう。いまから受け入れの祈りをしますか。</p> <p>⑬</p>



インマヌエルの神様！イエス様が私の主人であり、救い主であると告白する力をくださってありがとうございます。毎日、イエス・キリストというお名前の力を体験するように導いてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



# まいにちしあわせです

マタイ 1:21~25  
マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。(21)

ひょっとして明日が誕生日ではありませんか。明日が誕生日ならば、いまパパとママと友だちからお祝いのケーキや誕生日プレゼントをもらえるはずだと、口元が両側の耳に向かってニコリとひろがるでしょう。もし、毎日が誕生日ならば、考えるだけでもうれしいでしょう。このように、誕生日を迎えるときに感じる幸せな気分を毎日体験できるなら、どれくらい良いでしょう。もしかしたら、それよりもっとうれしくて幸せな時間を毎日持てるとすれば、どれくらい良いでしょうか！私たちの父なる神様は、幸せな時間をいつもに味わうことができるとおっしゃいました。私たちもいっしょに告白してみましょう「天に栄光、地には平和を与えるために来られた救い主イエスを私の主人としておむかえします。いつも喜びと幸せに導いてくださる私の救い主になってください」告白を通してインマヌエルの神様を体験するようになり、毎日告白するほど喜びが泉のようにわき出るでしょう。イエス様によって幸せな一日を味わいましょう。

3 Today



2011. 12. 25 (インマヌエル教会聖日 2部)



# じゅうじかの ゆえに そつう できます

マタイ 16:13~20

わたしは、あなたに天の御國のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなくなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」(19)

ある若者がにせのメシヤに話しました。「私はあなたを信じる事ができません。あなた手の平に釘のあとがあるのですか?キリストは私のために十字架で死んだので、手の平に釘のあとがあるのです」イエス様がキリストとして来られて、神様と私が通じ合うことができるように、神様に会う道を開いてくださいました。神様の愛のしるしが、十字架なのです。釈迦や孔子がキリストの働きをしたとすれば、釈迦キリスト、または、孔子キリストになるでしょう。しかし、ただイエス様だけがキリストの働きをしたので、私たちはイエス様をキリストと信じるのです。みなさんは、神様と通じる奥義を持っているのですか。イエス様が十字架で死んで復活されたキリストであると信じる時、神様と通じ合う祝福を味わうことができます。「あなたは生ける神の御子キリストです」この告白は、岩の上に教会をたて、ハデスの権威が勝つことができなくて、天国の鍵の祝福が通じる最高の告白です。この奥義を伝えてあげる人が、伝道者なのです。

3 Today

さようのみことば  
11月26日

さようのいのり

さようのてんどう

2011. 12. 27 (伝道弟子メッセージ)

# かみさまに あうみち

聖句を心で三回読んで質問に答えよう。

# もくそう

神様と通じ合うただひとつだけの道  
イエス・キリストを黙想してみよう

## 人間の根本問題

### ①神様をはなれた

そこで女が見ると、その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。それで女はその実を取って食べ、いっしょにいた夫にも与えたので、夫も食べた。(創世記3:1-6)

\* 神様をはなれた私にどんな問題が来りましたか?

### ②原罪

すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、(ローマ3:23)

\* 私が犯す自分の罪と原罪はなにがちがうのでしょうか?

### ③サタン

あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。(ヨハネ8:44)

\* まだサタンが私をだましていることはなんなのでしょうか?

## ただひとつだけの解決 イエス・キリスト

### ①まことの預言者

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。(ヨハネ14:6)

\* イエス・キリストによって神様と通じ合う私だけの方法は?

### ②まことの祭司

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。(マルコ10:45)

\* のろいから完全に解放されたことが生活で見えますか?

### ③まことの王

罪を犯しているものは、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。(1ヨハネ3:8)

\* 私の問題をイエス・キリストのお名前前の権威で打ちこわしてみましたか?

イエス・キリストだけが神様に会える道であることを信じます。ただイエス・キリストを自慢する伝道者として通じ合う奥義を味わってください。イエスさまのお名前によっておいのりします。アーメン



まだ とじこめられて  
いるのですか?

使徒1:4~5

彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」(4~5)

第二次世界大戦のとき、捕虜から戻った人の健康を検診してみたら、共通した精神の病気がありました。その病気は「鉄条網病」でした。捕虜から解放されたのですが、あいかわらず鉄条網に囲まれた収容所に閉じ込められているとかんちがいする病気です。ところで、ただひとりだけ鉄条網病にかからないで健康でした。その人はこのように話しました。「私はいつ捕虜から解放されるかもわからなかったのですが、いつも鉄条網の向こう側の世界をながめながら自由に生きていく日を見ていました」罪とサタンに奴隷になっていた私たちに、もっとも大きい喜びはまことの自由を得ることです。私たちはサタンの手から解放されたのですが、まだ鉄条網病にかかった人のように、サタンに勝てないとかんちがいしているお友だちはいませんか。神様は私たちに福音の中にあるまことの自由とまことの喜びをくださいました。復活されたキリストが、今、神の国の御座で答えて祝福してくださっています。聖霊様がおもにおられます。天の軍勢と御使いをおくって、私たちを守りながら導いてくださいます。サタンを縛り上げて勝利する権威もくださったのです。

3 Today

★きょうのみことば  
11月25日  
★いかに1しよ  
かみさまのみことばをよもう!

★きょうのいのり

★きょうのでんどう

2011. 12. 27 (70人訓練メッセージ)

ほんを  
よもう



梅田俊作/佳子 作・絵

梅田 俊作、梅田 佳子(著)ポプラ社

レムナントは学校でたくさん葛藤を体験したり、苦しみにぶつかっている友だちを見たりもするでしょう。静かに目をひらいて、神様からはなれた友だちをよく見なければなりません。しらんぷりをせずに、私たちが持っている身分と権威で友だちのために祈ってみましょう。私たちの祈りによって霊的な世界を動かすことができるのです。

「しらんがり」を読んだ感想文を送ってください。すぐれているものは「子どもの祈りの手帳」に出して、「子どもの祈りの手帳(韓国語)」を韓国からプレゼントします。

送付先 : 서울시 강서구 등촌3동 700번지 202호(우 157-033)  
メールアドレス : kidsrt@daum.net



かみさまの子どもにだけくださったまことの自由と喜びを味わわせてくださり、この喜びを伝える伝道者として育つように、祝福してください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



# かんしゃの きの み

マタイ 16:16

シモン・ペテロが答えて言  
った。「あなたは、生ける神  
の御子キリストです。」

かんしゃ きのみ おな き う みず ひりょう たいよう ひかり て  
感謝は木の実と同じです。木を植えて水と肥料、太陽の光が照ら  
せば、時間<sup>じかん</sup>が過ぎて実<sup>み</sup>を結ぶようになります。このように「感謝」  
は、私<sup>わたし</sup>たちが告白<sup>こくはく</sup>するときごとに、必ず実<sup>み</sup>を結びます。初代教会  
の人<sup>ひと</sup>は、難<sup>むずか</sup>しい中でも福音<sup>ふくいん</sup>一つだけで感謝<sup>かんしゃ</sup>しました。感謝<sup>かんしゃ</sup>だけし  
たのですが、三千人<sup>さんせんにん</sup>の弟子<sup>でし</sup>が集<sup>あつ</sup>まって、十五ヶ国<sup>じゅうごこく</sup>の門<sup>もん</sup>が開<sup>ひら</sup>かれて、  
福音<sup>ふくいん</sup>が世界<sup>せかい</sup>へ広が<sup>ひろ</sup>っていきました。レムナント<sup>れむなんと</sup>が特に感謝<sup>かんしゃ</sup>しなけれ  
ばならない部分<sup>ぶぶん</sup>は、神様<sup>かみさま</sup>の子ども<sup>こ</sup>という身分<sup>みぶん</sup>と権威<sup>けんい</sup>をくださってレ  
ムナントとして呼<sup>よ</sup>ばれたということです。「私<sup>わたし</sup>はなにも恐<sup>おそ</sup>れる必要<sup>ひつよう</sup>  
がない神様<sup>かみさま</sup>の子ども<sup>こ</sup>です。すべての問題<sup>もんだい</sup>の解決<sup>かいけつ</sup>者<sup>しや</sup>であるイエス・キ  
リストが私<sup>わたし</sup>とともにおられる」と毎日告白<sup>まいにちこくはく</sup>してみましよう。告白<sup>こくはく</sup>  
したあとには、神様<sup>かみさま</sup>の子ども<sup>こ</sup>としてくださったこと<sup>こと</sup>に感謝<sup>かんしゃ</sup>をささげ  
て、自分<sup>じぶん</sup>で難<sup>むずか</sup>しい部分<sup>ぶぶん</sup>や苦<sup>くる</sup>しい部分<sup>ぶぶん</sup>を神様<sup>かみさま</sup>に祈<sup>いの</sup>ってみましよう。  
それから、聖日礼拝<sup>せいじつれいはい</sup>のときにもらった講壇<sup>こうだん</sup>のみことばを見ながら感  
謝<sup>かみさま</sup>を回復<sup>かいふく</sup>しましよ。毎日<sup>まいにち</sup>、毎日<sup>まいにち</sup>、このように生活<sup>せいかつ</sup>をしたら、神様<sup>かみさま</sup>  
が私<sup>わたし</sup>とともにおられることが分<sup>わ</sup>かって幸<sup>しあわ</sup>せになるでしょう。

3 Today

★きょうの  
みことば  
いれきたい 26

★きょうの  
いのり

★きょうの  
でんどう

2011.12.27 (ミッションホームメッセージ)



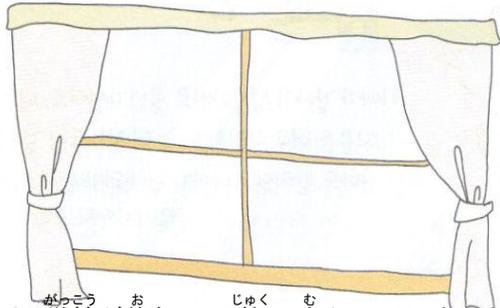
キム・ナンハ<sup>きゆう しんそうま ひーし</sup>は心臓麻痺<sup>しんそうまひ</sup>で死<sup>し</sup>んでしまいました。ふだんは、  
★パパが<sup>ぱぱ</sup>にくかったのですが、いまはとて<sup>あ</sup>も会<sup>あ</sup>いたいです。  
もうちょっとよくすべきだったと考<sup>かんが</sup>えてしまいます。ママ  
も苦<sup>くる</sup>しいように思<sup>おも</sup>え、私<sup>わたし</sup>まで重<sup>おも</sup>くなってしまいます。なや  
みを解決<sup>かいけつ</sup>してください。ホ・ミンソ (チェジュ・トンサン教会)

パパが<sup>ぱぱ</sup>生きていたときには  
感<sup>かん</sup>じなかつたなやみと、大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>さ、会<sup>あ</sup>いたい思<sup>おも</sup>いと、さびしい心<sup>こころ</sup>が  
なにか知<sup>し</sup>るようになったすてきなレムナント！牧師先生<sup>ぼくしせんせい</sup>も、パパが  
早<sup>はや</sup>く亡<sup>な</sup>くなりました。最初<sup>さいしょ</sup>はとて苦<sup>くる</sup>しくて、さまよったのです。  
そのような中<sup>なか</sup>で福音<sup>ふくいん</sup>を聞<sup>き</sup>くようになりました。イエス様<sup>イエスさま</sup>がキリストだとい  
う事<sup>じ</sup>実<sup>じつ</sup>とイエス様<sup>イエスさま</sup>が私<sup>わたし</sup>を救<sup>すく</sup>うために、この世<sup>よ</sup>に來<sup>こ</sup>られたこと、そして、私<sup>わたし</sup>がどれほど大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>  
な存在<sup>そんざい</sup>なのか知<sup>し</sup>るようになりました。そのときから、牧師先生<sup>ぼくしせんせい</sup>のすべ<sup>すべ</sup>てのこと<sup>こと</sup>は、変<sup>か</sup>  
わるようになったのです。その中<sup>なか</sup>で、ママがひとり<sup>ひとり</sup>で苦<sup>くる</sup>勞<sup>らう</sup>して仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>をしている姿<sup>すがた</sup>が、牧師  
先生<sup>せんせい</sup>の目<sup>め</sup>に入<sup>い</sup>ってきま<sup>ま</sup>した。ママの姿<sup>すがた</sup>を見<sup>み</sup>て、どのよう<sup>よう</sup>に助<sup>たす</sup>けたらよいかと神様<sup>かみさま</sup>に祈<sup>いの</sup>  
りました。そして、勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>ももつといっしょうけんめいにしました。そうしたら、ママ  
は本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に喜<sup>よろこ</sup>びました。そのとき、牧師先生<sup>ぼくしせんせい</sup>がさ<sup>さ</sup>ったこと<sup>こと</sup>は、すべ<sup>すべ</sup>ての問題<sup>もんだい</sup>の中<sup>なか</sup>には  
かみさまの計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>があるんだとい<sup>い</sup>うこと<sup>こと</sup>です。また、聖書<sup>せいしょ</sup>のレムナント<sup>れむなんと</sup>7人<sup>にん</sup>も、みんな  
問題<sup>もんだい</sup>の中<sup>なか</sup>で最<sup>さい</sup>高<sup>こう</sup>の契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>をにぎ<sup>ぎ</sup>って、答<sup>こた</sup>えられたこと<sup>こと</sup>を覚<sup>おぼ</sup>えておいてください。  
かれ<sup>かれ</sup>彼<sup>かれ</sup>ら<sup>ら</sup>のよう<sup>よう</sup>に神様<sup>かみさま</sup>のく<sup>く</sup>ださる<sup>さる</sup>ビジョン<sup>びじん</sup>の<sup>の</sup>がさ<sup>さ</sup>ずに、小<sup>ちい</sup>さなこ<sup>こ</sup>に  
感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>して、実<sup>じつ</sup>践<sup>せん</sup>するレムナント<sup>れむなんと</sup>になりま<sup>ま</sup>しょう！  
私<sup>わたし</sup>も祈<sup>いの</sup>りますね。



毎日、感謝<sup>かんしゃ</sup>の告白<sup>こくはく</sup>をささげるレムナント<sup>れむなんと</sup>になって、祈<sup>いの</sup>りの力<sup>ちから</sup>を持<sup>も</sup>たせてくださり、講壇<sup>こうだん</sup>の  
みことばを黙<sup>もく</sup>想<sup>そう</sup>して、聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>の満<sup>み</sup>たしを味<sup>あじ</sup>わわせてください。イエス・キリストのお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>  
によっておいのりします。アーメン

# しょうにんの しめい



サクラは、学校が終わって塾へ向かっていました。せまい裏の道を通って行くときに、どこから変な声が聞こえました。

「ごめんなさい。助けてください」

声がするほうを見たら、同じクラスのサトルが、近所の中学校の制服を着た学生に囲まれていました。背が高い学生たちはサトルの頭をポコポコたたきながら。

「オイ、なぜお金を持ってこなかったんだ」と言ってどなっていました。

サクラは、サトルを助けたかったのですが、こわかったので、大きな道に逃げて行きました。

次の日、学校で会ったサトルの顔には、青いアザができていました。サクラは、サトルが話かけるかと思って、ずっと頭を下に向けて歩いていました。

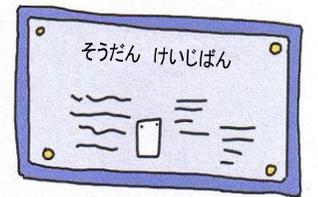
ある日、担任の先生がサクラを呼んで、サトルが中学生にいじめられ

ているようだと言われました。「……」

サクラは、なぜかわからなかったのですが、塾へ行く道で見たことを言うことができませんでした。サクラがモジモジしているのを、先生が言いました。

「サクラ、『証人』という意味を分かる？ 証人は重要な事実を見た人ですよ。自分が見たこと事実、すなわち証拠を言うとき、複雑な問題が解決されて、苦しい目にあっている人を助けることができるのです。自分が

見て経験したことを伝えるのが証人の使命ですよ」先生のことに、サクラは塾に行くときに見たことを話して、先生は、サトルがいじめに合わないよう助けられました。それから、サトルの顔には、もう傷ができなくなりました。



かみさま わたし 神様は私たちをイエス・キリストの証人として呼ばれました！  
キリストの意味はなんであり、イエス様はなぜ私たちのすべての問題を解決されたのでしょうか。  
わたしたちが持っている証拠はなにかをかんがえてみましょう。

かくれている絵さがし：  
自動車、さかな、こま、アルファベットのF



★ 1月27日  
★ 1月27日  
★ 1月27日